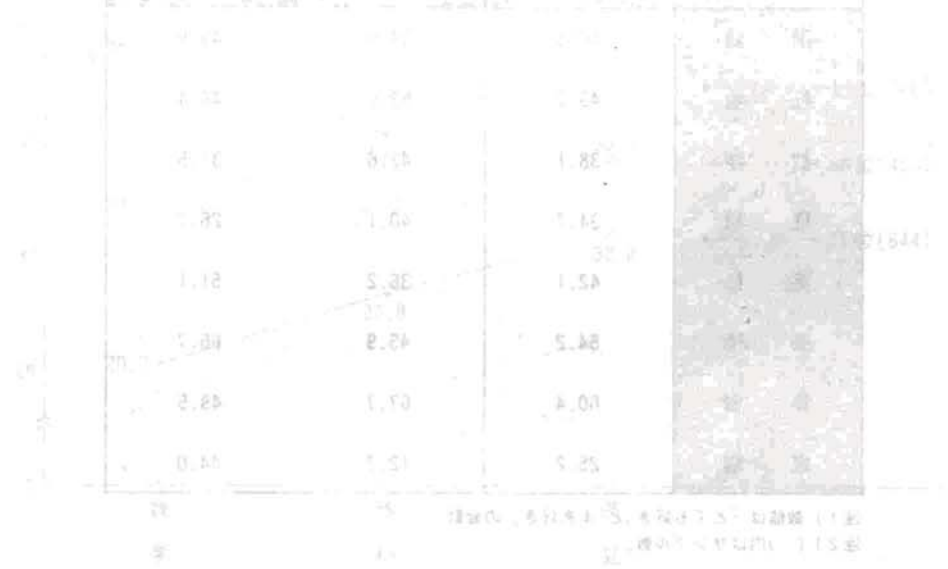


図1-1 高校生の学習行動

図1-1は、高校生の学習行動に関する調査結果を示している。調査対象は、全国の高校1年生から3年生までの生徒である。調査項目は、学習時間、学習場所、学習方法、学習内容などである。調査結果は、性別、学年、地域別に分けて示されている。図1-1は、高校生の学習行動に関する調査結果を示している。調査対象は、全国の高校1年生から3年生までの生徒である。調査項目は、学習時間、学習場所、学習方法、学習内容などである。調査結果は、性別、学年、地域別に分けて示されている。

第1章

高校生の学習行動



注：調査は、1998年10月1日から1999年3月31日まで実施された。

第1節 学校での授業について

1. 好きな教科・嫌いな教科

【高校生が好きな教科のベスト・スリーは、①体育(とても+まあ好き=60%)、②芸術(54%)、③社会(50%)。成績の自己評価別ではとくに「数学」「英語」について上位者で「好き」と答える者が多い。】(表1-1、図1-1)

Q2

あなたの学校での勉強についてうかがいます。

A. あなたは、次の教科の勉強が、どのくらい好きですか。①から④の教科のそれぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。

表1-1 好きな教科

	全 体 (2005)	男 子 (1207)	女 子 (798)
国 語	40.3	34.0	49.9
社 会	49.7	53.2	44.4
数 学	38.1	42.6	31.5
理 科	34.7	40.1	26.7
英 語	42.1	36.2	51.1
芸 術	54.2	45.9	66.7
体 育	60.4	67.7	49.5
家 庭	25.2	12.7	44.0

注1) 数値は「とても好き」と「まあ好き」の合計。
注2) ()内はサンプル数。

高校生は教科の勉強をどのように考えているのだろうか。今回の調査では、高校生の教科観を、(1)どのくらい好きか、(2)どのくらい理解しているか、(3)どんな教科をがんばって勉強したいと思っているか、という3つの側面に分けてとらえた。

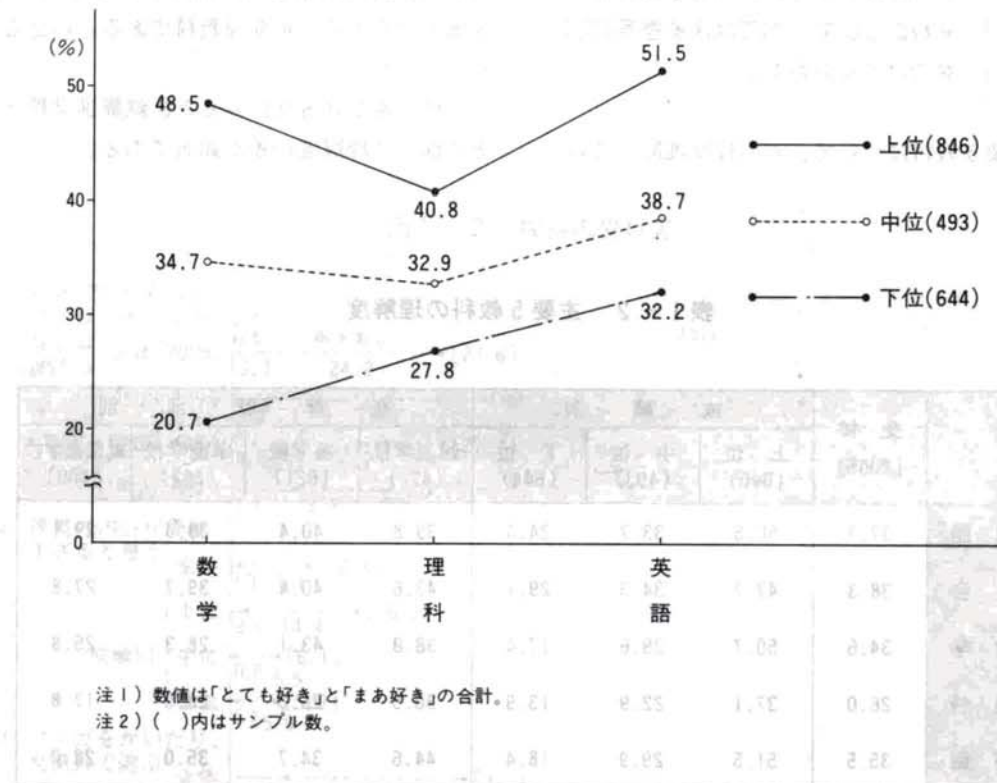
まず、高校生の好きな教科、嫌いな教科だが、全体としてみると、高校生が好きな教科のベスト・スリーは、①体育(とても+まあ好き=60%)、②芸術(54%)、③社会(50%)である。以下、英語(42%)、国語(40%)、数学(38%)、理科(35%)と続く。半数程度以上が「とても好き」「まあ好き」と

答えた教科は、体育、芸術、社会の3教科しかない。

性別にみると、男女とも「体育」「芸術」は好きな教科であるが、男子は「体育」をより好み、女子は「芸術」をより好む傾向がある。受験5教科に関しては、男子は「社会」「数学」「理科」を好み、女子は「国語」「英語」を好むという性差がみられる。

成績の自己評価別にみると、好みが分かれたのが「数学」「英語」「理科」の3教科であった。とくに「数学」「英語」について上位者で「好き」と答える者が多い。

図1-1 成績別にみた好きな教科



注1) 数値は「とても好き」と「まあ好き」の合計。
注2) ()内はサンプル数。

2. 主要5教科の理解度

【授業を「ほとんどわかっている」「70%くらいわかっている」のは、国語、社会、英語、数学については35%から38%程度、理科にいたっては4人に1人程度。成績の自己評価別にみると、「数学」「英語」の2教科で大きな成績差がみられ、これら2教科の理解度が全体的な成績の自己評価を左右する、重要な教科となっている。】(表1-2)

Q2

あなたの学校での勉強についてうかがいます。

B. それでは、学校の授業を、どのくらい理解していますか(わかっていますか)。①から⑤の教科のそれぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。

るかについて質問してみた。「ほとんどわかっている」と「70%くらいわかっている」の数値を合計してみると、国語38%、社会38%、英語36%、数学35%、理科26%であった。理解度が相対的に高い国語、社会、英語、数学についても35%から38%程度であり、理科にいたっては70%以上理解していると答えたのは4人に1人程度でしかない。これらの数値をみる限り、学習内容を消化している生徒はかなり少数にとどまる。

成績の自己評価別にみると、成績が上位になるほど高い理解度を示している。とくに「数学」「英語」の2教科で大きな成績差がみられ、これら2教科の理解度が全体的な成績の自己評価を左右する、重要な教科であるといえるかもしれない。

高校の進学状況別にみると、就職進学校とその他とで理解度の差が顕著である。

主要5教科について、どの程度理解してい

表1-2 主要5教科の理解度

	全体 (2005)	成績別			進学状況別			
		上位 (846)	中位 (493)	下位 (644)	超進学校 (422)	進学校 (621)	準進学校 (562)	就職進学校 (400)
国語	37.7	50.6	33.7	24.4	39.8	40.4	39.3	29.1
社会	38.3	47.7	34.3	29.1	43.6	40.4	39.7	27.8
数学	34.6	50.7	29.6	17.4	38.8	43.1	28.3	25.8
理科	26.0	37.1	22.9	13.9	30.5	26.0	28.5	17.8
英語	35.5	51.5	29.9	18.4	44.6	34.7	35.0	28.0

注1) 数値は「ほとんどわかっている」と「70%くらいわかっている」の合計。

注2) ()内はサンプル数。

3. 授業の受け方

【全体の傾向として、「黒板に書かれたことをきちんとノートに書き」「黒板に書かれていなくても先生の話で大切なことはノートに書く」などまじめに授業を受けている。しかし、「ぼうっと他のことを考えている」「近くの人とおしゃべりする」「内職(他の科目の勉強など)をする」など適当に息抜きをしている生徒もかなりみられる。「授業の内容が簡単すぎると思う」と答えた生徒は、全体でほぼ1割にすぎない。】(図1-2)

Q4

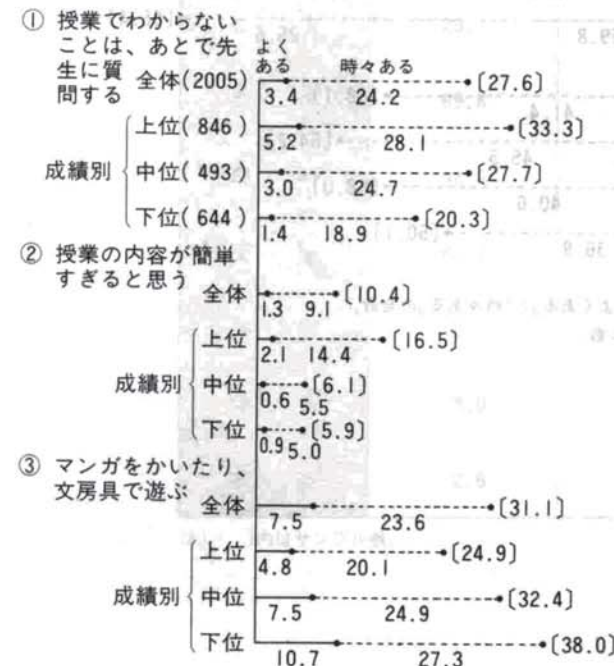
あなたの授業中のようすについてうかがいます。①から⑤のそれぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。

く(91%、よくある+時々ある)、書かれなくても大切なことはノートに書く(58%)と、授業内容はよくノートに書いている。一方、ぼうっと他のことを考えている(76%)、近くの人とおしゃべりする(56%)も相当数ある。授業でわからないことはあとで先生に質問するというのは28%と相対的に少数である。授業の内容が簡単すぎると思うと答えた生徒は、全体でほぼ1割にすぎず、授業の理解度の低さ(前項)と符合した結果がでている。

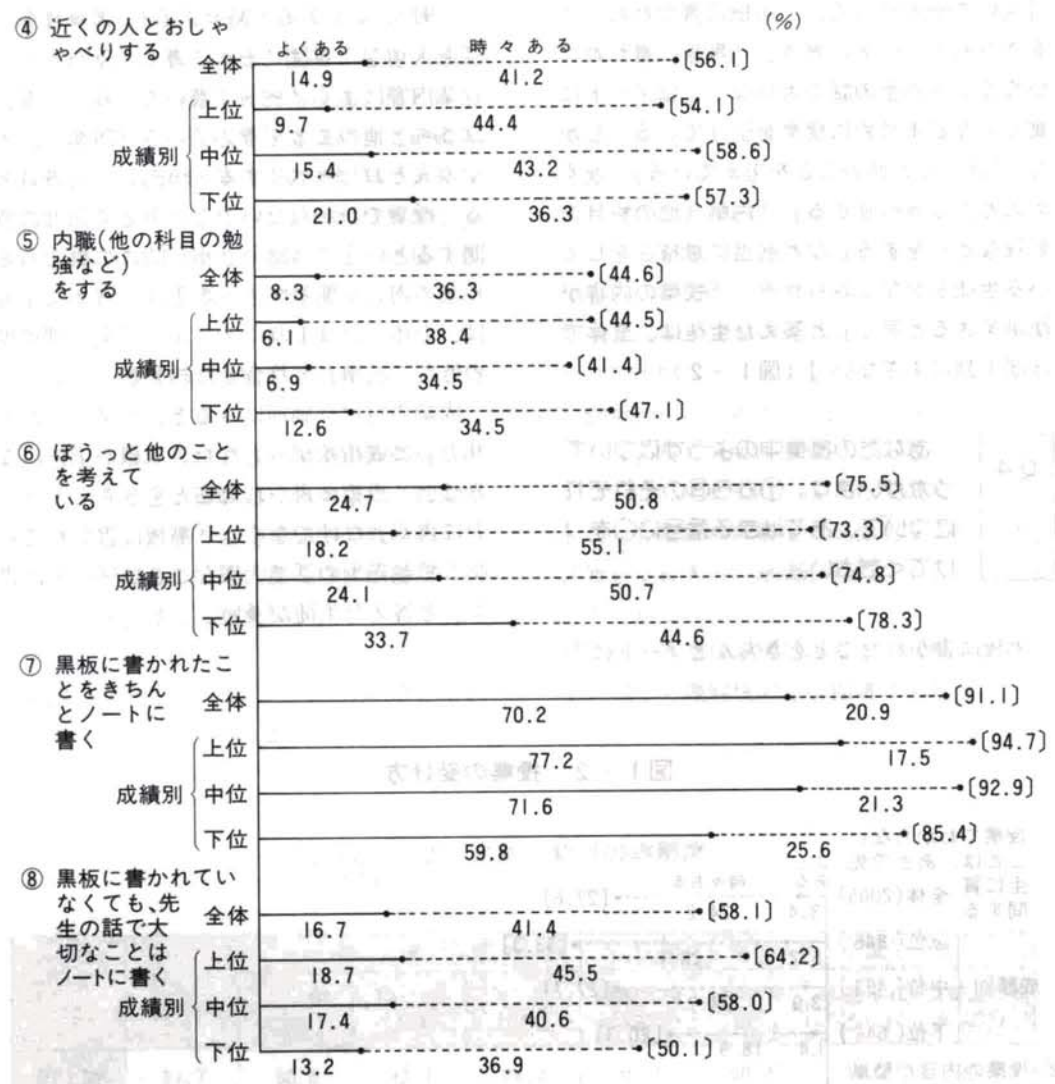
成績の自己評価別にみると、「ノートのとり方」に成績差がみられた。成績が上位になるほど「黒板に書かれたことをきちんとノートに書く」だけでなく、「黒板に書かれていなくても先生の話で大切なことはノートに書く」と答えた生徒が多い。

黒板に書かれたことをきちんとノートに書

図1-2 授業の受け方



※次ページへつづく



注1) []内の数値は「よくある」と「時々ある」の合計。
 注2) ()内はサンプル数。

4. がんばって勉強したい教科

【がんばって勉強したい教科は、主要5教科に集中。英語86%、数学70%、理科42%、国語42%、社会29%であり、とりわけ英語と数学への集中度が著しい。】(表1-3)

これからがんばって勉強したい教科について、3つまで選択させた。芸術、体育、家庭を選択したのはいずれも1割にみたく、主要5教科に集中している。順に並べると、英語86%、数学70%、理科42%、国語42%、社会29%であり、とりわけ英語と数学への集中度が著しい。

Q2 あなたの学校での勉強についてうかがいます。
 C. あなたは、これから学校で、どんな教科をがんばって勉強したいと思いますか。1~8の教科の中で、あなたがとくにがんばりたいと思う教科を3つまで選んで、番号に○をつけてください。

性別にみると、男子は数学、理科、女子は社会、国語をがんばって勉強したいという傾向がみられる。

表1-3 がんばって勉強したい教科 (%)

	全体 (2005)	男子 (1207)	女子 (798)
国語	41.9	40.3	44.4
社会	29.1	26.8	32.6
数学	69.8	71.8	66.8
理科	42.0	45.6	36.6
英語	85.5	84.8	86.5
芸術	6.3	5.3	7.9
体育	8.0	9.4	5.8
家庭	2.6	1.2	4.9

注) ()内はサンプル数。